

インフォメイト

Vol.12
October
2016

特集

消化器内科の最新治療

非紹介患者加算料の定額負担が義務化されました

市民公開講座のご案内

臨床工学室のご紹介

消化器内科では、食道胃腸や肝胆膵の様々な病気の診断と治療をしています。ここでは、代表的な治療をいくつか紹介します。



早期がんの内視鏡治療
早期がんの多くは、内視鏡を使って治療できます。早期食道がんや早期胃がんは、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)という、がんのできた粘膜を剥離切除する方法で入院治療します。早期大腸がんは、食道がんや胃がんほど悪性度が高くないので、小さな大腸がんや大腸良性腫瘍、腺腫の多くは、内視鏡的粘膜切除術(EMR)という従来からある方法で外来治療できます。大きく広がった早期大腸がんや大腸腺腫は、入院してESDで治療します。

C型肝炎の最新治療

C型肝炎治療は大きく進歩しました。ほぼ全ての患者さんが、C型肝炎ウイルスを体から排除して完治できるようになりました。12週間の内服治療で、注射をしなくてもC型肝炎を治せ、とくに副作用もありません。ただし、治療薬の直接作用型抗ウイルス薬(DAA)が大変高額なため、血液検査や超音波検査、ファイブロスキャン(写真)などで肝臓の状態を確かめてから治療

早期発見

このように消化器内科では、専門医が最新の薬物治療や内視鏡治療をしています。消化器の病気は色々あって、それぞれ違った治療が必要となります。早期がんや慢性肝炎は症状がないことが多く、手遅れになると治療が難しくなることがあります。日ごろから「かかりつけ医」で、がん検診や肝炎ウイルス検診などの検診を受けて、異常が見つければ早めに紹介受診するようにしてください。



消化器内科の最新治療

消化器内科部長 野内俊彦

早期がんの内視鏡治療

早期がんの多くは、内視鏡を使って治療できます。早期食道がんや早期胃がんは、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)という、がんのできた粘膜を剥離切除する方法で入院治療します。早期大腸がんは、食道がんや胃がんほど悪性度が高くないので、小さな大腸がんや大腸良性腫瘍、腺腫の多くは、内視鏡的粘膜切除術(EMR)という従来からある方法で外来治療できます。大きく広がった早期大腸がんや大腸腺腫は、入院してESDで治療します。

総胆管結石の内視鏡治療

超音波検査で胆のうに胆石が見つかることがあります。腹痛などの症状がない胆石は経過観察となります。胆石が胆のうから総胆管に落ちると総胆管結石となります。初めから総胆管に結石ができることもあります。総胆管結石は、胆管炎の原因となることが多く、早めの治療が必要です。十二指腸乳頭総胆管の出口を内視鏡を使って切開・拡張することで取り出すことができます。特に大きな総胆管結石は、内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)で十二指腸乳頭を小さく切開したあと、内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術(EPILBD)で乳頭を広げて取り出します。

前回、この誌面でご説明させていただきましたように、国の進めている「医療と介護の一体的な改革」は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の方々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の医療と介護の様々な関係機関が協力・連携して、包括的で継続的な在宅医療・介護を提供することを目指しています。

現在は市町村が中心となって、地域の医師会等と協力しながら、在宅医や訪問看護師、ケアマネージャー等の地域を支える様々な分野との切れ目のない連携を目指して、取り組みを始めているところですが、

本年8月より、「北多摩北部保健医療圏」(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)では、東京都多摩小平保健所が中心となって新たな取り組みを開始しています。それは、地域で介護サービスを受けている(担当ケアマネージャー)がいる患者さんが入院の際に、互いに連絡を取り合うというものです。

まず、患者さんが入院の際にはケアマネージャーが、現在の介護サービス内容についての情報を病院へ知らせます。そして、退院が決まった時点で病院は、ケアマネージャーに退院予定日や退院後に必要な情報を伝えます。このように、双方が連絡を取り合うことにより、患者さんが安心して自宅へ帰るための準備をすることができると考えています。

地域医療連携室だより!



医療と介護の連携について、病院とケアマネージャーとの協力

病院とケアマネージャーの間でやりとりされる患者さんの情報は、あらかじめ患者さんにご了承をいただいている範囲にとどまります。また、提供する個人情報は、当院の「個人情報取り扱いの基本方針」に基づき、情報の適正な取り扱いと保護に努めています。

介護保険証を利用しておられますか?



介護保険証をお持ちください

当院では、以下の場合に介護保険証をお持ちいただいています。

- 初めて受診される場合
- 紹介状をお持ちの場合
- 入院が決まった場合

保険証とお薬手帳と共に介護保険証をお持ちください。

65歳になり介護保険の第1号被保険者になると、医療保険の保険証とは別に、1人に1枚の介護保険被保険者証(保険証)が市区町村から交付されます。40歳から64歳の第2号被保険者は、要介護・要支援の認定を受けた人に交付されます。



《公立昭和病院の理念と方針》

【理念】

一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します

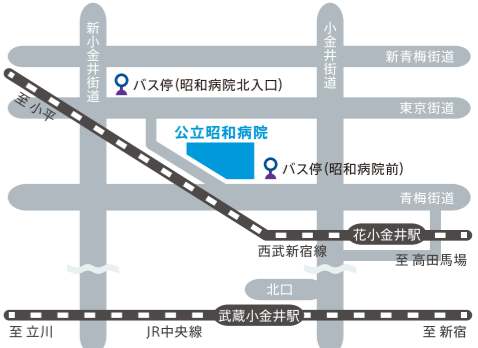
【方針】

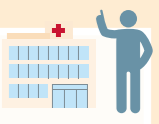
- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
- 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
- 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
- 5 信頼される優れた医療人を育成します
- 6 健全な病院経営に努めます

当院は、東京都多摩地域の小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、武蔵村山市および西東京市の8市で構成されている昭和病院企業団により運営されています。標榜診療科は全31科。休日・夜間救急医療をはじめ、高度・専門医療、予防医学的事業、地域医療センターとして高い機能を発揮して、地域の医療需要と信頼に答えています。



公立昭和病院
〒187-8510
東京都小平市花小金井8-1-1
tel.042-461-0052
fax.042-464-7912
www.kouritu-showa.jp





10月1日より 非紹介患者加算料の定額負担が義務化されました

前号でお知らせのとおり、医療保険制度関連法令の改正によって、当院は10月1日より非紹介患者加算料の定額負担の導入を開始しました。

非紹介患者加算料は、救急搬送されたかたなど特別な事情がある場合を除き、患者さんが紹介状を持たずに初診を受け、診察料金とは別に負担していただくものです。

1. 定額負担の義務化となる病院は全国で約240病院

定額負担の義務化が対象となる病院は、「高度医療を提供する大病院」で、特定機能病院(大学病院の本院)と一般病床500床以上の地域医療支援病院です。全国で約240の病院が該当します。当院は、518床の地域医療支援病院ですので、その中のひとつとなります。

2. 定額負担の導入理由...

病院の役割を分担し、身近な地域で適切な医療を受けていただくために長寿国「日本」の医療費は、平成27年秋に初めて40兆円を超えました。そして、団塊の世代が75歳以上を迎える7〜8年後には、医療や介護を必要とする高齢者はさらに増え、国民の医療費は増大することが予測されています。

治療を中心とした病院は数多くありますが、回復を支える病院や療養を中心とした病院の病床数不足などを危惧した国は、改善に向けての対策を講じるため、高齢者も住み慣れた地域で生活に支障がないように安心して暮らし、地域社会が一体となって患者さんの治療を支える「生活を支える医療」に転換するためのシステムづくりの推進を始めました。

限られた医療資源(ひと・もの・お金など)を効率的・効果的に継続して国民に提供できるように、医療機関の役割分担を明確にして、必要な場所に必要な機能を持った病床を配置する「病院の機能分化」と「かかりつけ医」の普及によって、地域全体で患者さんを支援する方向性を強く打ち出しました。

3. かかりつけ医との医療連携

「かかりつけ医」は、患者さんの自宅に近く、家族の病状・病歴・健康状態を把握し、身近な病気や軽度のけがに適切な処置を行うなど、日頃からの健康管理や体調の変化を気軽に相談できる地域の中小の病院や診療所です。そして、高度で専門的な医療や検査が必要となった時は、「かかりつけ医」からの紹介状によって、「高度医療を提供する大病院」が患者さんを受け入れ、適切な治療を行った後、回復期に入った患者さんなどを「かかりつけ医」に紹介(逆紹介)します。(右下イメージ図)



臨床工学室のご紹介

当院の臨床工学室には、部長(副院長)1名、臨床工学技士12名が在籍しています。「臨床工学技士」と聞いてピンとくるかたはどれだけの割合でしょうか?この頃は、医療ドラマ等で採り上げられる機会も増えてきていますが、まだ一般的には知名度は低くご存じないかたが多いと思います。

臨床工学技士は、昭和62年に制定された国家資格で、医学と工学の両面を備えた医療職です。臨床工学技士法では、「医師の指示の下に生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う事を業とする者」と定義されています。

生命維持管理装置とは、呼吸、循環、代謝などが生きていくうえで大切な機能の一部を代替したり、補助したりする医療機器のことです。皆さんが実際に目にする機会のある生命維持管理装置としては、



モニターを点検する臨床工学技士

生命維持管理装置をはじめとする医療機器の操作及び保守管理は、高度急性期医療センターの当院として必要不可欠な業務です。臨床工学室は、院内の多種多様な医療機器を通じ、医師、看護師、その他のコメディカルスタッフ(医療技術者)と連携して、安心、安全な医療を提供し地域社会に貢献することを目指しています。

臨床工学室課長補佐 船木哲也

呼吸の補助をする人工呼吸器、腎臓の動きを代替する人工透析装置、さらに心臓と肺の機能を補助する人工心肺装置などがあります。

私たちの勤務は、救命救急センターや透析室、手術室等が多いため、目に留まる機会が少ないと思いますが、最近では、循環器内科医師や看護師と一緒に心臓ペースメーカーの管理も行っていますので、外来等で皆さんと関わる機会が増えているのではないかと思います。

臨床工学技士は医療機器の専門家です。生命維持管理装置だけでなく、病棟などで使用されている輸液ポンプやシリンジポンプ、手術室で使用する内視鏡装置や電気メス、麻酔器、更に病院の総合案内やエレベーターホールに設置しているAED、病室のベッドサイドで心電図や血圧などを監視するモニターなど、700台を超える医療機器の操作及び保守管理を行っています。意外と多くの医療機器が目に入ると思いますが、来院の際は、いろいろな医療機器に注目してみてください。

生命維持管理装置をはじめとする医療機器の操作及び保守管理は、高度急性期医療センターの当院として必要不可欠な業務です。臨床工学室は、院内の多種多様な医療機器を通じ、医師、看護師、その他のコメディカルスタッフ(医療技術者)と連携して、安心、安全な医療を提供し地域社会に貢献することを旨としています。

かかりつけ医

- ① 体調の変化や軽度のケガは、「かかりつけ医」を受診しましょう。
- ② 高度で専門的な医療や検査が必要な場合は、「かかりつけ医」からの紹介状で大病院に診てもらいましょう。
- ③ 適切な治療等によって回復期に入った患者さんなどを「かかりつけ医」に紹介(逆紹介)します。

市民公開講座のご案内 医事課長 金井弘子

公立昭和病院 高度医療を提供する大病院

「病氣」を辞書で調べると、「生体かその形態や生理・精神機能に障害を起し、苦痛や不快感を伴い、健康な日常生活を営めない状態」とあります。文字どおり病気になるると体調のつらさや不安など、病気によって日常生活を快適に過ごせなくなります。また、ご家族のかたは看病や介護、患者さんを気遣うことで、ふだんどおりの生活ができなくなることもあるのではないのでしょうか。

を維持していきましょう。しかし、予防していても病気になるってしまったら、早期診断・早期治療となるよう、なるべく早く病気に気づき治療を開始することです。そして、治療が難しい病気であれば、病気が共生するよう、ご自分の病気を理解して上手に付き合っていくことが大切です。

そこで、公立昭和病院では、皆さんに病気の予防や治療について正しく理解していただくとともに、実際に行われている治療をご紹介する機会として、市民公開講座の開催を重ねてまいりました。

回市民公開講座を開催いたしますので、ぜひ、ご来場ください。(詳しくは左記のお知らせをご覧ください)



市民公開講座の様子

公立昭和病院 第19回 市民公開講座

日時 平成28年11月13日(日) 14:30 ~ 16:00

場所 保谷こもれびホール

●西武池袋線保谷駅から徒歩5分
 ●西武池袋線保谷駅から徒歩5分
 ●西武池袋線保谷駅から徒歩5分
 ●西武池袋線保谷駅から徒歩5分

第1部 **乳がんになっても治るために**
 公立昭和病院 乳腺・内分泌外科部長 金内

第2部 **予防接種は誰のため? ~ワクチンで予防可能な感染症~**
 公立昭和病院 感染症科部長 小田智三

第3部 **ご存知ですか? 検診のポイントと正しい受け方**
 ~わたしたち医師会での取組みもあわせて~
 永田外科胃腸内科部長 永田靖彦

(お問い合わせ)
 公立昭和病院 医事課 医事管理係
 042(461)0052代 内線 2171

■主催: 公立昭和病院 ■共催: 西東京市医師会 ■後援: 西東京市